

事業実績書

1 補助事業の名称

学生の中でもっと狩猟を盛んに！

～狩猟を通して、香美の人と自然の関わりを考えよう～

2 補助事業の成果

・狩猟活動

たくさんの人に協力してもらいながら狩猟活動を継続して行い、香美市でイノシシを2頭捕獲した。

・狩猟等の普及・啓発活動、学生が狩猟ができるためのサポート

自分たちの行った狩猟活動の経験を基に、他の学生に狩猟やジビエ、鳥獣被害の現状などについて知ってもらった。また、狩猟免許を取得したい・狩猟を始めたいという学生に対して、そのサポートをした。

・実際の現場で学ぶ・交流する

三嶺の鹿柵設置ボランティアへの参加、農家さんへの鳥獣被害についての聞き込み、トレイルカメラによる野生動物の生息調査などにより、実際に現場の状況・課題などを体験することができた。また狩猟・ジビエに関する様々な方、組織と交流をした。

3-1 補助事業の内容

事業1 狩猟活動

(1)実施月日 平成 30 年 8月 1日 ～ 平成 31 年 3月 8日

(2)場 所
香美市 土佐山田町 林田地区 他

(3)参加人員
7人

(4)事業内容

- ・自分たちで狩猟に使うくくり罠の材料集め・製作を行った。
- ・県・猟友会の開催する狩猟に関する講習会に参加した。
- ・罠を掛ける場所の選定のため、林田地区の山を歩いて動物の痕跡を探したり、トレイルカメラによる動物の調査を行った。
- ・猟期（11月～）に林田地区にくくり罠を設置し、2日に一回を目途に見回りをした。
- ・何度か解体・止め刺しの見学・練習を猟師の方に教えてもらいながら行った。
- ・1月にイノシシ2頭を捕獲。解体、小分け、調理までを行った。

3-2 補助事業の内容

事業2 狩猟等の普及・啓発活動、学生が狩猟ができるためのサポート

(1)実施月日 平成 30 年 8月 1日 ～ 平成 31 年 3月 8日

(2)場 所
香美市、高知大学物部・朝倉キャンパス 他

(3)参加人員
9人

(4)事業内容

- ・高知大学生の中で、狩猟・野生動物等に興味がある人に向けて、「狩猟・野生動物普及グループ」を作った。グループでは、狩猟やジビエなどに関するイベント、狩猟免許取得についての情報を流した。そのグループ内で、今年度、新たに5人が罠の狩猟免許を取得、3人が大学在学中に狩猟免許を取得希望である。
また、グループ内の人に向けて、アンケートを実施した。
- ・狩猟を実際に始めたいという学生に対し、自分たちの経験を踏まえて相談に乗った。
- ・2月2日の香美狩猟フォーラムで活動成果を発表した。自分たちの活動を知ってもらいと共に、これから狩猟を始めようという人に向けて貢献ができた。
- ・チラシを製作し、香美狩猟フォーラム時に配布、また大学内に設置を行った。
- ・高知大学内で、自分たちの活動について4回の発表を行った。
- ・獲れたイノシシ肉に興味のある学生に振る舞い、ジビエの魅力について知ってもらった。
- ・Twitter、Facebookで継続的に活動内容を流した。
- ・高知新聞に活動が取り上げられた。また4月にはラジオFM高知、NHK高知放送に出演予定。

3-3 補助事業の内容

実際の現場で学ぶ・交流する

(1)実施月日 平成 30 年 8月 1日 ～ 平成 31 年 3月 8日

(2)場 所
香美市、高知大学物部・朝倉キャンパス 伊野町 他

(3)参加人員
9人

(4)事業内容

- ・三嶺での鹿柵設置ボランティアに2度参加、また11月に三嶺の森を守るみんなの会の会員の方とシカの食害の確認のため三嶺を訪れた。
- ・香美市 林田地区で農家さんとお話をする中で、鳥獣被害の現状・そのために行っている対策などについて知ることができた。
- ・お世話になっている猟師さんや、出会った猟師さんから、現在と昔の生息動物の変化、狩猟に関する知識などを教えて頂いた。
- ・トレイルカメラによる野生動物の生息調査を行い、出現動物の数、時期による変動などについて調べることができた。
- ・香美市役所に訪問させて頂き、農林課総務班の方に、鳥獣被害の現状を伺った。
- ・徳島で開催された「日本ジビエサミット」に参加。また徳島大学の狩猟団体「レビアヤークト」と情報交換をした。
- ・西村直子さんのジビエアカデミーに参加しジビエの調理法について学ばせて頂いた。またフォーラム時の料理教室にも参加した。

4 その他（市民との協働）

香美猟友会、香南猟友会、地元農家さん、三嶺の森をまもるみんなの会 等

土佐の懸橋ハンプロ 活動報告書

(平成 30 年度)

2019 年 3 月

1. 「土佐の懸橋ハンプロ」について

補助事業の名称

学生の中でもっと狩猟を盛んに！

～狩猟を通して、香美の人と自然の関わりを考えよう～

経緯・目的

高知県では野生鳥獣によって農林水産業は1億8千万円もの被害を受けている。そこで、土佐の懸橋ハンプロ（以下、ハンプロ）を立ち上げ、三嶺の山々を有す自然豊かな香美市において狩猟を行うことで人と自然の関わりを学び、その中で野生動物の農林業及び森林への被害の現状、地域のハンターの高齢化・減少などの課題を知る。また、これらの課題の解決方法の一つとして香美市で狩猟をする学生を増やすため、普及活動及び学生でも狩猟のできる環境づくりを行う。



ハンプロのロゴ



香美市土佐山田町林田地域

<https://www.google.com/maps/place/%E3%80%920007+%E9%AB%98%E7%9F%A5%E7%9C%8C%E9%A6%99%E7%BE%8E%E5%B8%82%E5%9C%9F%E4%BD%90%E5%B1%B1%E7%94%B0%E7%94%BA%E6%9E%97%E7%94%B0/@33.6118882,133.7064039,15z/data=!4m5!3m4!1s0x3551fe912ff477bd:0x54b779b5c4e110cb!8m2!3d33.6131306!4d133.7242162>

3. 平成 30 年度 活動状況

事業内容	狩猟活動
日時	平成 30 年 8 月 1 日(水)～平成 31 年 3 月 8 日(金)
場所	香美市 土佐山田町 林田地区
活動人数	7 名(3 年生 5 人、2 年生 2 人)

【概要】

- ・自分たちで狩猟に使うくくり罠の材料集め・製作を行った。
- ・林田地区の山において動物の痕跡を探索し、罠を掛ける場所を選定した。
- ・猟期間中に林田地区にくくり罠を設置し、2 日に一回を目途に見回りをした。
- ・解体・止め刺しの見学・練習を猟師の方に教えてもらいながら行った
- ・1 月にイノシシ 2 頭を捕獲。解体、小分け、調理を行った
- ・トレイルカメラを利用し、野生動物の生息状況を調べた
- ・近隣の農家さんに被害などの聞き込みを行った

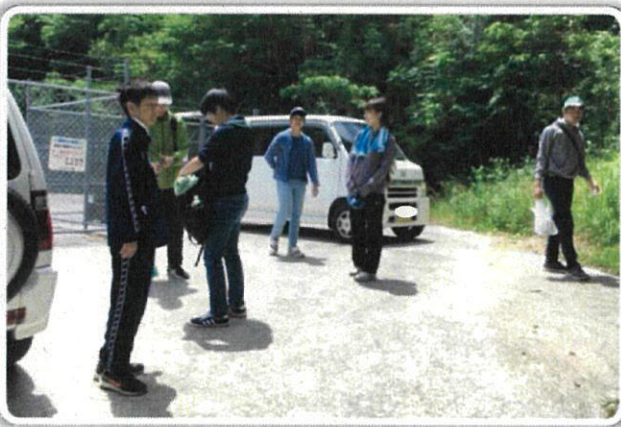
【活動風景】

猟場の探索

5～12 月

猟期が始まる前から、イノシシやシカの痕跡を探すために山を歩き回ります。足跡や糞、食痕、掘り返した痕などから、罠を仕掛ける獣道(ハシリ)に目星をつけておきます。

猟期中に罠の設置場所を移動するときは、獣道を重点的に見回っていきます。



罾の見回り



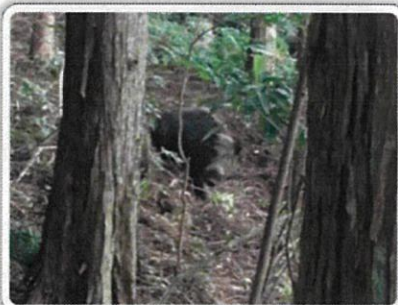
猟期中(11～3月)

罾に獲物が掛かっていないかを毎日～2日に一回は確認しに行きます。猟友会支給のオレンジ色のベストと帽子は、銃猟の誤射防止のために目立つ色合いをしています(写真上)。

見回りは罾より標高が上側から、行います。獲物が掛かって逆襲される可能性も十分にあるので、油断はできません。事故ゼロを目指して慎重に行います。

下の写真は、罾が作動したものの獲物に逃げられてしまった場面(カラ弾き)です。罾の誤作動や、上手に罾を踏ませられなかった、または罾に気付かれてしまった時にはこうなってしまうことも多いです。

イノシシの捕獲(止め刺し・搬出)



1月9,10日

9日に70キロ程の大きな雄猪と10日には小さな若い雌猪が獲れました。

止め刺しは大きな個体は猟友会の方に銃で、小さな個体は剣鉈で行いました。血抜きを丁寧にすることが肉のおいしさを決めます。

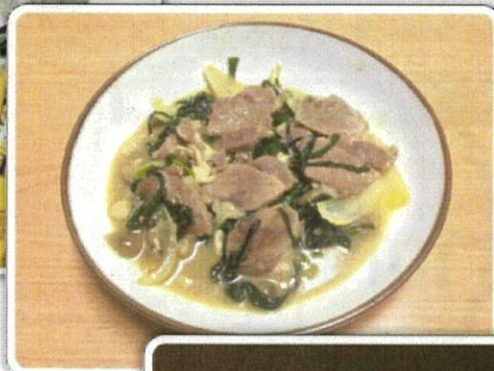
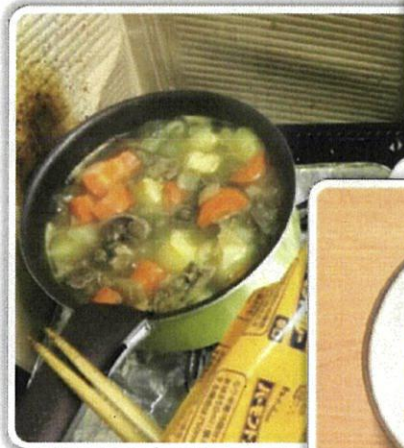
その後、山から運び出します。



調理、そしていただきます！！



煮込んだり.....

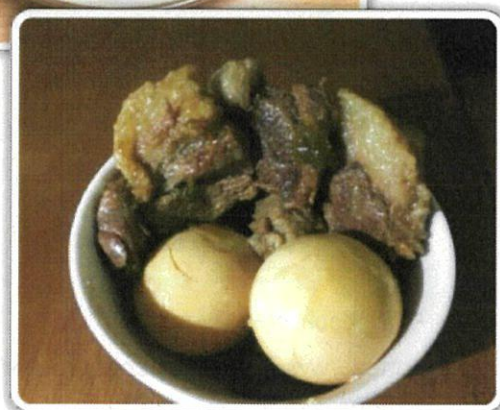


炒める！

カレー！

シチュー！

などなど



第4回香美市狩猟フォーラムへの参加

2月2日

健康福祉センター香北で行われた香美市狩猟フォーラムにおいて、10分間のプレゼン発表を行いました。



学生に対する狩猟参加へのサポート

高知大学内で活動についての報告会を4回行いました。大学内の他のグループも参加する報告会で、ハンプロの活動について様々なアドバイスや意見を頂きました。ハンプロのチラシも作成し、キャンパス内の各所や狩猟フォーラムにて配布を行いました。



また、高知大学生の中で、狩猟・野生動物等に興味がある人に向けて「狩猟・野生動物普及グループ」を作りました。このグループでは、狩猟やジビエなどに関するイベント、狩猟免許取得についての情報を流しました。

またアンケートを行った結果、今年度は5人がわな猟免許を取得、3人が大学在学中に狩猟免許の取得を希望しました。

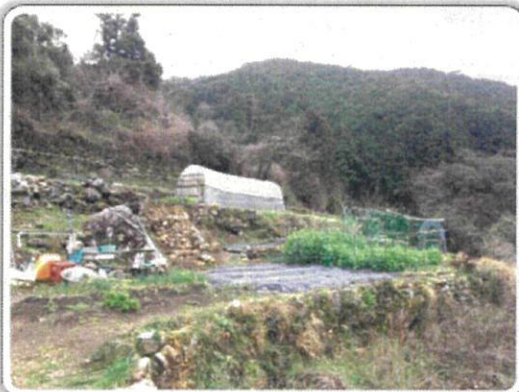
その他の活動としては、高知新聞様からの取材を受けた(11月16日)ほか、高知大学のラジオ番組である「THE こうちユニバーシティ CLUB」に出演予定です。

被害の聞き取り

8～3月

イノシシによる被害が特に激しいようで、直接的な農作物の被害のほかにも用水路を掘り起こし破壊してしまうことや、下側からイノシシが石垣を崩し、段々畑の土が流失してしまっているそうです(写真右)。

残渣を放置しないことや、イノシシの隠れ家となる草場を刈ることで侵入を防ぐことができる。



カメラによる野生動物の調査（その1）

8～3月

トレイルカメラを用いて、夜間を中心に野生動物の撮影調査を行いました。生息動物を調べるとともに、狩猟での罠を仕掛けるポイントの選定にも利用し、自分たちの知識と経験、勘を補強するためにも撮影をしました。



トレイルカメラは木にくくりつけて使います。赤外線センサーが何らかの動きを感知すると、写真や動画を撮影する仕組みになっています。

カメラによる野生動物の調査（その3）

4. タヌキ

タヌキもよくカメラに映ります。シカやイノシシは、場所によってカメラに映る頻度はまちまちですが、タヌキはどこに行ってもよく見られます。

高知県では、道の駅や日曜市などでタヌキの脂肪を狸油として販売している光景を見かけますが、こうした利用の背景には、タヌキが高知の人々にとって身近な存在であったことが関係しているのではないかと考えられます。



5. ノウサギ

ノウサギは雑木林内でよく見られます。人工林造成開始当時には、若木の芽を食べる害獣とされ、この林田地域でも駆除されていたというお話を先輩の猟師さんから、お聞きしました。

6. 撮影されたイノシシたち





誰(だれ)のウンチか
分かるかな？

◎ハンプロについて

2017年12月に生まれたばかりの学生狩猟団体です。まだまだ手探りな部分が多い状況ですが猟友会や地域の方々の協力を得て活動しています。現在、試行錯誤しながら頑張っています。

Q:What is the etymology of Hunpuro?

A:Hunt + (protect,produce,proceed,professional)=ハンプロ

◎活動内容

- ・香美市を拠点に狩猟活動(罟猟)
- ・狩猟フォーラムなどのイベントへの参加
- ・毛皮や角の加工
- ・学生間での情報交換、共有
- ・柵の設置等の手伝い、PR活動 etc...

※週に1度活動について話し合うミーティングがあります。



リーダー
横佐古

1月に猪が3頭捕れました！
これからも頑張っていきます！！

【連絡先】

Email:hunpro.kochi.uni@gmail.com

狩猟活動や狩猟免許取得の手順についての質問もお待ちしてます。

Facebook、Twitter (@Hunpro_Kochi) やってます！

チラシ裏